

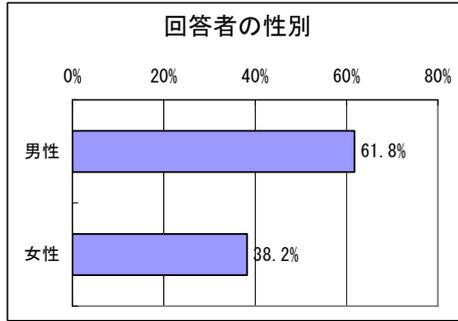
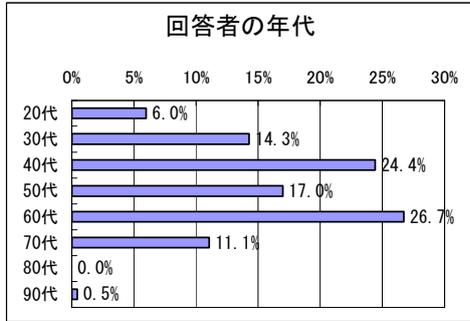
平成23年度「県民Webアンケート」

第2回 「奈良県の生物多様性について」 集計表

○アンケート実施期間 2011/8/19～2011/8/25

○アンケート会員数 258人 回収数 217件 (回収率 84.1%)

○県では貴重な自然環境を次世代に伝えていくため、(仮称)「生物多様性なら戦略」を策定する予定です。  
 (※生物多様性とは生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性があり、様々な生命が豊かに存在することを言います。生物多様性は私たちの暮らしに様々な恵みをもたらしていますが、今、地球上ではその生物多様性が急速に衰退しています。)  
 つきましては、生物多様性への認知度や自然との関わり方に関する意識をお尋ねし、戦略策定の参考とさせていただきます。



設問	選択肢内容	回答件数	回答者数	割合	グラフ
1. 奈良県の自然についてどう思いますか。	今でも豊かな自然が多く残されている	140	217	65%	
	特に自然が豊かだとは思わない	14		6%	
	このままいけば自然が危機的な状況である	38		18%	
	すでに自然が破壊されている	22		10%	
	わからない	0		0%	
	その他	3		1%	
	合計	217		100%	
2. 「生物多様性」という言葉をご存じでしたか。	知っていた	97	217	45%	
	聞いたことはあったが、内容はよく知らなかった	80		37%	
	知らなかった	40		18%	
	合計	217		100%	
3. 自分と「生物多様性」は関わりがあると思いますか。	深く関わっている	56	217	26%	
	少しは関わりがある	73		33%	
	あまり関わりがない	57		26%	
	まったく関わりがない	10		5%	
	わからない	21		10%	
	合計	217		100%	
4. 「生物多様性」の大切さを浸透させるために何が一番必要と思いますか。	教育・研究機関等での学習の機会	37	217	17%	
	広報やパンフレットによるPR	33		15%	
	自然観察会や自然体験イベントなどの開催	75		34%	
	マスコミなどによる報道	41		19%	
	シンポジウムやセミナーの開催	15		7%	
	わからない	10		5%	
	その他	6		3%	
	合計	217		100%	

設問	選択肢内容	回答 件数	回答者 数	割合	グラフ
5. 自然のいきものを守る活動や里山や河川の保全活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。	参加したことがあり、今後も参加していききたい	27	217	12%	
	参加したことはないが、機会があれば参加したい	156		73%	
	参加したことはあるが、今後は参加したいとは思わない	7		3%	
	参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	27		12%	
	合計	217		100%	
6. 「生物多様性」に関して行政が重点的に取り組むべきと思うことを選んでください。 (当てはまるものを3つまで)	自然公園など優れた自然環境の保全	125	217	58%	
	在来種を脅かす外来種(ブラックバスなど)の駆除	102		47%	
	シカなどによる希少植物の食害防止	48		22%	
	開発等による影響を小さくすること	103		47%	
	里地里山・ため池など身近な自然環境の保全	108		50%	
	希少野生動植物等に関する調査・研究や人材養成	49		23%	
	自然観察会など学習の場の提供	53		24%	
	特にない	1		1%	
	その他	6		3%	
	合計	595		—	